



議会だより掲載希望

① 2

登壇 No.

/ - /

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 5 年 11 月 20 日

多治見市議会議長 様

会派名 自 民 ク ラ ブ

15番議員 氏 名 若尾 敏之

質問題名	次年度に向けた多治見らしい「にぎわい」の創出について
質問要旨	コロナ禍が明け、今年度盛り上がったイベントやスポーツ行事などの結果を踏まえ、次年度に向けメインとなる国際陶磁器フェスティバルを始めとする各種イベント・スポーツ行事等への取組みについて
質問項目①	各種イベント・スポーツ行事などの今年の状況と次年度への展望
質問項目②	国際陶磁器フェスティバルへの事務局以外の取組み
質問項目③	インバウンド対策の結果と評価
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長 経済部長 環境文化部長

/



議会だより掲載希望

1 2

登壇 No. 2 - /

第 市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

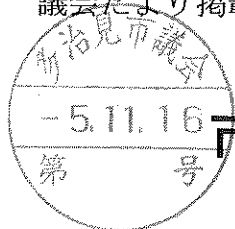
令和 5 年 11 月 20 日

多 治 見 市 議 会 議 長 様

会派名 新生自民

1 番 議 員 氏 名 獅子野 真人

質問題名	消防団について
質問要旨	全国的に消防団員の数が減少している中、各地で発生している未曾有の災害や南海トラフ地震に備える為には、人員の確保が喫緊の課題です。基本団員を確保することはもちろんのこと、機能別分団を増員することで人手の確保ができ、更に専門分野に特化した部隊を設けることで救助の幅を広げることができると思います。加えて、DX が叫ばれる昨今において、消防団も進めていかなければならないと思います。
質問項目①	入団者増加のために、企業への依頼は必須であるが、状況はどのようなか。
質問項目②	人手の確保や有事の際の対応向上のために、市役所で採用される職員の研修制度として期間を定めた入団が有効と考えるがいかがか。
質問項目③	現職に続けてもらうためには、操法大会をはじめとした負担の軽減が必要と考えるが、検討状況はどのようなか。
質問項目④	現職に続けてもらうためには、報酬、特に今回においては出動報酬の引き上げが必要と考えるが、検討いただけないか。
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	消防長



市政一般質問発言通告書（個人）

令和 5年 11月 16日

多治見市議会議長 様

会派名

自民クラブ

21 番議員 氏 名

嶋内九一

質問題名	脱炭素の取組と地域経済対策について
質問要旨	2015年に採択されたパリ協定に基づき、日本は世界と共に脱炭素社会の実現に向けて歩みを進めております。 こうした取組は、政府においてのみ進められるものではなく、個人はもとより、企業、地方自治体にとっても重要なテーマになりつつあります。 しかしながら、「脱炭素」の示す範囲は思いのほか広く、行政として求められる取組や、実現可能な目標がどの程度のものなのかは必ずしも明確ではありません。このことは、多治見市においても同様であり、当市として目指していく方向性や、今後の取組について確認を致します。 また、脱炭素の取組には、経済と環境の好循環が求められます。一方で、当面の地域経済対策としては、物価高騰に対する対策が急務と考えますが、今後の考え方について確認を致します。
質問項目①	多治見市の脱炭素についての認識をお示してください。
質問項目②	物価高騰対策として、プレミアム付き商品券の発行についての認識はどのようなのでしょうか。
質問項目③	
質問の相手方	市長、環境文化部長、経済部長



議会だより掲載希望

1 2

登壇 No.

4 - /

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

令和 5 年 11 月 20 日

多 治 見 市 議 会 議 長 様

会派名 自民クラブ

7 番議員 氏 名 加藤 智章

質問題名	笠原町活性化に向けた「まちづくり」組織の設置について
質問要旨	現在、笠原町においては「教育」「産業・観光」「くらし」「福祉」の各分野について、市民の皆様による多くの取り組みがなされています。 しかし一方で、事業規模自体の縮小や縦割りによる組織間の連携不足もあり、想定した成果を必ずしも得られていません。 地域力あふれる笠原町を再び創るには、各分野の活性化を図るとともに組織間の課題を共有する“横串力”ある仕組みの構築が必須です。 オール笠原による「まちづくり」の実現に向け、これより質問いたします。
質問項目①	地域力について、多治見市はどのようなスタンスでお考えですか？
質問項目②	13 校区の内、5 地区に地域力が立ち上がって ^い ますが、今後の広がりはどうですか？現状をお聞かせください。
質問項目③	地域力組織を立ち上げる場合、どのような支援をして頂けますか？
質問項目⑤	【総括】“横串力”のあるオール笠原実現に向けた組織の設置について 市長はどのようにお考えですか？
質問の相手方	副市長、環境文化部長、市長



議会だより掲載希望

1 2

登壇 No.

5 - 1

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 5 年 11 月 20 日

多治見市議会議長 様

会派名 公 明 党

8 番議員 氏 名 片山 竜美

質問題名	誰一人取り残さない防災の街、多治見市の実現へ！
質問要旨	私はこれまで、一般質問において令和元年 9 月に「防災ラジオの導入」や「防災士資格取得補助金創設」「福祉避難所への直接避難」、令和 2 年 3 月に「防災無線戸別受信機の福祉施設や障がいをもつ方への無償配布」。 そして令和 3 年 3 月には「個別避難計画の積極的導入」や再度「福祉避難所への直接避難」「防災士資格取得補助金」について、さらに令和 4 年 9 月には「より実践的防災訓練の実施をはじめとするインクルーシブ防災の実現」についてなど、様々な防災に関する質問や提案をしてきた。 今回は、これまでに実現してきたことの進捗状況の確認含めた質問と新たなインクルーシブ防災に関する提案をする。
質問項目①	防災無線戸別受信機設置事業補助金と防災アプリの利用者の普及拡大について、今後どのような策を講じていくか。
質問項目②	個別避難計画を立ててきた地域における成果と課題とそれをふまえてこれからどのように推進していくか。
質問項目③	個別避難計画の推進に伴い、福祉施設への直接避難含めた避難をどう推進し、福祉施設の整備をどのように進めていくか。
質問項目④	ペット避難について、千葉県柏市のように利用者のガイドラインを作成したうえで、屋内避難ができるようにならないか。
質問項目⑤	多治見市の総合防災訓練を住民が一斉に非難するという実践を想定した訓練にできないか。
質問項目⑥	地域で防災訓練するためのリーダーとして防災士を誕生させるためにも、防災士資格取得補助金を創設できないか。
質問の相手方	企画防災課



議会だより掲載希望

1

2

登壇 No.

6 - 1

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

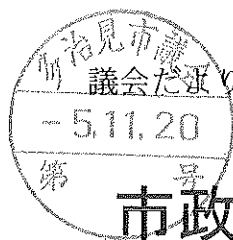
令和5 年 11 月 20 日

多治見市議会議長 様

会派名 新生自民

17 番議員 氏 名 林 美行

質問題名	本庁舎建設において向き合わなければならない新たに発生している課題と解決策について
質問要旨	急速化する人口減少、スタグフレーション化し始めている経済状況。革命的ともいえる DX の進行。商店街等の衰退を含めた中心市街地の構造変化。など、市行政事務を行う行政庁舎の内容、あり方に大きな変化が想定される時期、高額な建設費は世界的なインフレによる資材の高騰を受け、今年度当初より 40% の増加とされ、日本国内では収まるところがわからない状況である。このような時期、補助金のない高額の事業である本庁舎建設を進めることは不適切、であると考え、以下の諸点について質問するものです。
質問項目①	現状の都市政策の延長上では、現在検討が進む本庁舎が完成する頃には人口は 10 万人弱。60 年 80 年後を考えると考え方を整理しなおす必要がある。
質問項目②	スタグフレーション化し始めている経済状況。資材、人件費高騰の先が見えない。他の優先順位の高い事業もコストが増加する。先送りが必要。
質問項目③	革命的とまで言えそうな情報化の進展。具体的な方向が定まるまで、骨格的な事業は行う事はできないのでは。
質問項目④	中心市街地を含む都市構造の変化を踏まえた街の姿が明らかではない。駅南ビルに見るような一時代前の中心市街地再開発を改めることが必要。
質問項目⑤	駅周辺整備事業がどのようにして行政核でのにぎわいづくりに変更されたのか明らかにしていただきたい。都市計画上の位置付けは。
質問項目⑥	提案ですが、現本庁舎の電気給排水リノベーション工事を行い、駅と本庁舎を 20 分間隔のコミバスを循環させる。駅北移転は 30 年先にすべき。他
質問の相手方	市長、総務部長



掲載希望

1

2

登壇 No.

6 - 2

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和5 年 11 月 20 日

多治見市議会議長 様

会派名 新生自民

17 番議員 氏 名 林 美行

質問題名	循環型地域経済の姿をどのようにして目指すべきか
質問要旨	産業連関分析から見えてくる多治見市の課題にどのように取り組むべきかを問う。
質問項目①	産業構造分析から見えてくる多治見市の大きな課題は。
質問項目②	より、持続可能性を高めていく都市政策はどのようなものか。
質問項目③	基本的なデータは企画部局ではどの程度集積してあるのか。
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長、企画部長



議会だより掲載希望

1 2

登壇 No.

7 - 1

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和5 年 11月20日

多治見市議会議長 様

会派名 市民ネットワーク

19 番議員 氏 名 井上あけみ

質問題名	坂上児童館の移転統合に伴う南坂上公園への遊具設置について
質問要旨	60年近い歴史がある現坂上児童館のそばには、坂上公園があり常に子どもたちでにぎわっているが、令和7年度に坂上児童館が移転、養正公民館と統合、「養正交流センター」となる。 移転地に近い南坂上公園については、地元の愛護会の方々の努力できれいにしているが、遊具などは一切なく、利用者は多くない。 児童館移転を機会に同公園の在り方について期待をもって質問する。
質問項目①	移転統合予定の児童館に近い公園に、児童が遊べる遊具は無いが、どのようにお考えか？
質問項目②	公園を利用する児童は当然増えると予想されるが、障がいのある子や、近隣の高校生、公民館利用者や、地域住民や健康づくりの為に高齢者など幅広い年代の利用も見込まれる。整備するならどのようなイメージのものになるか？
質問項目③	南坂上公園前の道路は一方通行で速度制限がされているが、現場はカーブで見通しが悪く、特に子どもの飛び出しが心配される。対策は考えているのか？
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長、建設部長



議会だより掲載希望

1

2

登壇 No.

7 - 2

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和5 年 11月20日

多治見市議会議長 様

会派名 市民ネットワーク

19 番議員 氏 名 井上あけみ

質問題名	「子ども情報センター」を「子ども図書館」としてもっとPRを！
質問要旨	公共施設白書の中に「子ども情報センター」について利用者は少ないという指摘があった。コロナ禍を経て利用者の来館がまだ戻っていないと感じるが、そもそも目立たない場所、名称が図書館を連想できない等、市民が知らないということが大きな要因と考える。 子どもと特定した図書館は東濃地域では稀少で、大いに知名度を高め、多治見市の子育ての一つの目玉としてPRし、子育ての応援の場として大切に盛り上げたいという思いで質問する。
質問項目①	名称について「子ども図書館」とする事についてはどのような問題があるのか？
質問項目②	この施設について、移転、統合、民営化などを考える前にどう活かすかという考えはないのか？
質問項目③	敷地内にある芝生内に、幼児が遊べる遊具（小さめのすべり台）などの設置を求めたいがどうか？
質問項目④	他市の広報では図書館ニュースなど小スペースで載せ、詳細はQRコードで読み込めるようになっている。そのような形でのお知らせを載せることは可能ではないか？
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長、環境文化部長



議会だより掲載希望

1

2

登壇 No.

7 - 3

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

令和5年 11月20日

多治見市議会議長 様

会派名 市民ネットワーク

19番議員 氏名 井上あけみ

質問題名	財政判断指標の基準値、目標値、財政向上指針の見直しについて
質問要旨	今回12年ぶりに上記の指標数値について見直しをする事になり、今議会に報告議案として3件上程されている。 見直し事態を否定するものではないが、その内容については議員全員協議会で説明を受け、不明な点について改めて確認の為一般質問を行う。
質問項目①	この財政向上指針の内、目標年度はR6～R9年の4年間とある。このような大きな見直しについて条例では4年間とあっても、それ以上の見直しについて内部で検討されたのか。
質問項目②	10月20日の全員協議会で配布された資料に、財政向上指針の内、基金の適正な管理として、財政調整基金の可処分額について残高の推計という表があり、R6年度に52.8億円がR9年度には19.8億円とあった。説明文ではこの可処分額から当初予算に20億円繰り入れるということだが、そういう理解で良いのか？
質問項目③	さらに、11月15日の全員協議会の説明では、8次総合計画担当からR9年度の減額予想で財政調整基金の充足率基準値の7.5%に近いものになっている。なぜか？また、これがさらに年度を経た時の見直しはどうなるのか？
質問項目④	この指標の見直しの数値について、10月中行われたパブコメへの回答に義務的経費（扶助費公債費等）の増大とさらに、子育て施策等の予算確保が必要との説明があったが、給食費の無料化分は計算に入っているのか？
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長、総務部長 企画部長



議会だより掲載希望

1

2

登壇 No.

8 - /

市政一般質問発言通告書（個人）

令和 5 年 11 月 20 日

多治見市議会議長 様

会派名

自民クラブ

9 番議員

玉置 真一

質問題名	『多治見市工業用LPガス価格高騰対策支援金』について
質問要旨	11月1日から受付が開始した「多治見市工業用LPガス価格高騰対策支援金」は、政府からの交付金を原資として、原油価格が高騰している状況において、地場産業を営む中小企業者等の負担を軽減し、事業の維持を図ることを目的に創設されたと認識している。この政策は、ひいては事業者の支援のみならず、地域経済の安定にも資する有益な政策であると考えている。 一方で、原油価格の変動は決して規則的なものではなく、対象期間が事業者の実情に合致するかは半ば運の要素も少なくはない。事実、今回の支援金の対象期間は令和5年1月～9月であり、エネルギー価格の高値安定で事業者は苦しんでいるものの、支援金を申請できる対象に当てはまらなかった所も多い。 交付金を原資とする以上、多治見市の為に使い切ることは必須と言える。こうした観点から、以下の質問をする。
質問項目①	現時点での申請件数と消化予算額（見込含む）をお示しください。
質問項目②	予算未消化の場合、交付金の扱いはどうなるか。
質問項目③	年度末に向けて、財源構成の変更も含め、地場産業支援に真に資する政策へ転換することも視野に入れるべきと思うが如何か。
質問項目④	
質問の相手方	市長・経済部長



議会だより掲載希望

①

2

登壇 No. 8 - 2

市政一般質問発言通告書（個人）

令和 5年 11月20日

多治見市議会 議長 様

会派名 自民クラブ

9番議員 玉置 真一

質問題名	『地域公共交通のあり方』について
質問要旨	全国の公共交通が今大ピンチです。 鉄道、路線バス、コミュニティバス等様々な公共交通機関があります。でも、今、地方の公共交通は利用者が減少傾向にあり、結果、路線も減少し続けています。※国土交通省 中部運輸局資料より 多治見市も「自動車に頼らなくても移動できる公共交通づくり」を掲げ、幅広い関係者が協力し、知恵を出し合って地域公共交通について検討する多治見市地域公共交通会議を設置している。今後、第8次総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画と整合を図ると共に地域にふさわしい公共交通とは何か、現状と課題、市民全体のニーズを捉え慎重に、迅速に進めることが大切である。こうした観点から、以下の質問をする。
質問項目①	地域公共交通の現状と課題はどの様に捉えておられるか。
質問項目②	地域にふさわしい公共交通をつくりあげていくために何が必要と考えるか。
質問項目③	地域公共交通施策への補助バランスについてのお考えは。 (市民は満足しているのか)
質問項目④	交通事業者との連携についてこれまで、又は今後どの様に進めていくか。
質問の相手方	市長・都市計画部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

令和 5年 11月 20日

多治見市議会 議長 様

会派名 オールたじみ

6 番議員 氏 名 成田 康 弘

質問題名	防災・減災について
	～災害に強い多治見を創造する【自助共助と公助編】～
質問要旨	ひとたび発生すれば広範囲に甚大な被害をもたらす「南海トラフ地震」や気候変動の影響による災害リスクの高まりが指摘され、「豪雨災害」の激甚化、頻発化、局地化が顕著になっている。こうした現状を踏まえると、大規模災害が発生した際、市民の命を守るためには「自助・共助」の底上げを図る必要がある。
	また、「公助」のさらなる充実強化を図り、被害を最小限に抑えるための備えが急務である。
	いつ発生してもおかしくない自然災害について、改めて多治見市の危機管理体制について問う。
質問項目①	■ 公助のさらなる充実強化（減災に努める備え）
	1 大規模災害発生時には、他の行政機関や団体などから「人的・物的支援」を受けることとなるが、これを円滑・効果的に受け入れるための方策をどのように考えられているか。
質問項目②	2 本市における「災害時情報伝達手段」の整備状況はどのようなか。
質問項目③	3 本年10月、岐阜県によって「土砂災害警戒区域」の追加指定が行われたが、ハード面・ソフト面の対応は如何か。
質問項目④	■ 自助・共助の促進（地域防災力強化・自主防災組織の必要性）
	1 本市に「防災士」は現在何人いるか。充足率についてどのように考えるか。「防災士」増員のための施策はあるか。
質問項目⑤	2 本年3月に発足した「多治見市防災士の会」 これまでの活動や行政との連携はどのようなか。
質問項目⑥	3 自主防災組織の結成率向上や活動充実は進んでいるか。そのために行政としてどのような取り組みを行っているか。
質問の相手方	企画部 建設部



議会だより掲載希望

1 2

登壇 No.

10 - 1

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 5 年 11 月 17 日

多治見市議会議長 様

会派名 新生自民

3 番議員 氏 名 葉狩 拓也

質問題名	多治見市営球場の今後の活用について
質問要旨	多治見市営球場は、1949 年に建設され 1988 年に改修工事がされた。その後大きな改修はなく、老朽化が進んでいる。多治見市公共施設適正配置計画の中では当面は現状のまま使用すると、方向づけられています。 ただ現在、今後も使用を続けていくには所々、不備が見られます。市営球場を使用する各種団体からも、様々なご意見、要望が聞かれます。そこで今回は大規模改修、建て替え等は、現時点で計画にない事は承知した上で、せっかく今ある多治見市営 球場を、今後も少しでも長く活用し、さらに多くの市民に利用してもらうために、どのような手直しや現実的な改修が望ましいのか、現在あがっている要望の中で何を優先的に、どのような計画で取り組んでいくのか、市としての考えを聞かせて頂きたい。
質問項目①	2024 年 6 月に高円宮賜杯全日本学童軟式野球マクドナルドトーナメントの岐阜大会が多治見市営球場で開催されることが決定しているが、それに向けて、現在どのような準備、改修が行われているか？
質問項目②	現在、硬式球、準硬式球を使用する場合、天井防球ネットの設置を義務化している。これでは練習はできるが、試合の開催はできないという状況にある。 今後、球場のネットを高くするなどして、硬式球、準硬式球の使用が可能のように改修する予定はあるか？
質問項目③	2022 年より多治見市球場にて全国高等学校女子硬式 野球ユース大会が開催されているが、全国大会をやるにあたり、多くの 改善して欲しいと言う点が聞こえてくるが、今後どのように対応していくか？
質問項目④	将来、多治見市営球場の老朽化が進み、使用が困難になった場合、多治見市としては、新球場の建設を考えていくのか。または、県や国と連携し新球場のあり方を模索していくのか。または、近隣他市と連携し、市内の人たちが野球をできる場所を市外で確保していくのか。現時点でどのようなビジョンがあるのか、お聞かせ頂きたい。
質問の相手方	環境文化部長



議会だより掲載希望

1 2

登壇 No. / / - /

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 5 年 11 月 20 日

多治見市議会議長 様

会派名 市民の会

18 番議員 氏名 仙石 三 喜男

質問題名	空き家対策特措法改正による本市の今後の対応について
質問要旨	空き家問題については、今までも市政一般質問の場において多くの議員から空き家の適性な管理を求め、提案がなされています。今後益々高齢化が進むなか、空き家の発生は増え続けることは間違いなく見込まれ、①衛生上の問題②まちの景観・環境の悪化などまちの賑わいや美化を損なうものになると危惧をします。 よって、今回の質問は、空き家への課税を強化する改正空き家対策特別措置法が本年 6 月に国会で可決、成立し、12 月より施行となり、本市の今後の空き家対策の対応について改めて質問する。
質問項目①	改正法では、適切な管理がされず、放置すれば特定空き家になる恐れがある物件を新たに「管理不全空き家」とし、税の軽減対象から外れることになった。この「管理不全空き家」の明確な基準はどのようなかお伺いする。
質問項目②	空き家のうち「そのまま放置すれば倒壊若しくは保安上危険となる恐れのある特定空き家」の判断基準において、①衛生面②景観・環境面の視点についての基準は現在どうなっているかお伺いする。
質問項目③	本市の空き家条例は、平成 26 年に法律で空き家特措法が施行されたことにより平成 28 年 3 月に廃止され、その後令和 2 年に「多治見市空家等対策計画」が策定された。今回の特措法の改正により、本市として今後着実な空き家政策を推進するうえで本計画の見直しの必要の有無について問う。
質問項目④	改正後の新しい制度として、空き家活用に向けた区域や指針を策定する制度も新設され、指針に明記していれば空き家を宿泊施設、飲食店やコミュニティ・カフェ 等への転用も認められる。また、「空き家特区」などを含め本市として新しい制度に対するお考えをお伺いする
質問項目⑤	老朽及び危険空き家除却工事補助制度は、令和 5 年度予定件数（予算）は既に上限に達しているが、その評価、と今後の対応予定（来年度の予算を含む）、及び民間事業者との連携方針についてお伺いする。

質問項目⑥	空き家対策の一環として、シルバー人材センターの活用（連携）について市としてお考えがあるか伺います。例えば、空き家管理支援補助により空き家の管理（見守り）、空き家の草刈り・剪定等です。 以上
質問の相手方	都市計画部長、福祉部長



議会だより掲載希望

1 2

登壇 No.

12 - 1

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 5 年 11 月 19 日

多治見市議会議長様

会派名 新生自民

2 番議員 氏名 亀井芳樹

質問題名	病児保育について～子育てしながらでも働きやすい環境を～
質問要旨	全国の自治体では『病児保育』という、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に、病院・保育所等において、病気の児童を一時的に保育することで、安心して子育てができるサービスがあります。 本市においては、病気の回復期である病後児保育をおこなう 2 ヶ所、インフルエンザ等の感染症を除いた病気の際に保育可能な施設が 1 ヶ所、そして、ファミリー・サポート・センター事業による病児サポートの利用が可能です。これらは、特に就労している保護者にとって大変便利な制度ですが、インフルエンザや水疱瘡等に感染した場合は、本市では病児保育の対象外です。 それに対し、近隣の市町村では、預かりに関して柔軟な対応が可能な施設もあります。ひとり親家庭や非正規雇用、また休暇の取得が困難な職場で就労する保護者にとっては、子どもがインフルエンザや水疱瘡等になった場合、就労が困難になることで収入が大きく減少してしまったり、会社内での立場に影響が及んだりする場合もあるため、利用に関して大変感謝の声が多いと聞きます。 そこで、本市の病児保育について何点か伺います。
質問項目①	本市において、インフルエンザ等の感染症に対応した病児保育の必要性に対して、いかがお考えでしょうか。
質問項目②	他市との提携をしている自治体もあり、それと同様に本市においても他市との連携が必要と考えますが、いかがお考えでしょうか。
質問項目③	
質問項目④	
質問の相手方	福祉部長

- 5.11.20

第

市政一般質問発言通告書（個人）

令和 5 年 11 月 20 日

多治見市議会議長 様

会派名 自民クラブ

10 番議員 氏 名 城 處 裕 二

質問題名	多治見市の人口減少緩和策の効果について ～16 年ぶりの転入増実現の分析～
質問要旨	令和 5 年 10 月 1 日付で公表された資料によると、多治見市の総人口は 103,859 人であり、前年同月比で 1,195 人の減少となっている。これは市制以来初めて年間千人を超える人口減少となった昨年度に次ぐ規模である。 一方で、人口動態のうち、社会増減については、実に 16 年ぶりとなる転入増となっており、自治体の自助努力としての人口減少緩和策については一定の効果がでてきていると評価ができるものと思う。引き続き自然減については厳しい状況が続くとは言え、社会増に向けた取り組みを強化いただきたい。 以上のような観点に基づき、今回の社会増実現について分析を加え、多治見市の人口減少緩和策の実効性について認識を深めると共に、今後の政策の方向性について執行部の考え方を問う。
質問項目①	令和 4 年 9 月 30 日～令和 5 年 9 月 30 日までの人口動態についてお答えください。
質問項目②	校区別の人口増減を見たとき、13 校区中 12 校区がマイナスとなっている中、昭和校区のみが 206 人の増加となり、突出している。これは、駅南の再開発が人口増加に大きく寄与しているものと考えるが、当局の認識は如何か。
質問項目③	人口 減少が続く中、外国人の人口は前年同月比 322 人の増加となっている。外国人の流入が人口減少緩和においては重要とも考えられるが、これについての認識は如何か。
質問項目④	駅南再開発が今回の社会増に大きく寄与しているとする、この現象は一過性の可能性も否定できない。今後の社会増減についての認識は如何か。
質問項目⑤	同様に、駅南再開発が大きく寄与しているとすれば、多治見市においては市街地再整備等の住宅供給地の増加政策、もしくは駅周辺における住宅ストックの増加策が有効と考えられるが、どうか。
質問の相手方	市長・企画部長



市政一般質問発言通告書（個人）

令和 5年 11月 20日

多治見市議会議長 様

会派名 自民クラブ

10番議員 氏 名城 處 裕 二

質問題名	避難行動要支援者の個別避難計画作成事業について
質問要旨	近年の気象状況を鑑みると災害から人命と財産を守るため、防災・減災の備えをすることは必須であると考えます。またこの事業の核となる自治会の加入率が70%を下まわっているのも現実である。この事業を通し自治会の意義の見直し、市民の安心安全に寄与することを願い以下の質問をする。
質問項目①	国の対策『避難行動要支援者名簿』と『個別避難計画』の制度化の目的と概要を教えてください。
質問項目②	県内に於いてこの計画の作成に対し色々な作成手法があると聞いておりますが、その方法と他市の状況、本市が当該手法を選択した理由を教えてください。
質問項目③	委託契約についてお伺いいたします。この契約の具体的な内容を教えてください。
質問項目④	過去10年、避難指示などの避難情報が出された事例とその時に開設された避難所、避難者の実績を教えてください。
質問の相手方	市長・企画部長



議会だより掲載希望

1 2

登壇 No. 14 - 1

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 5 年 11 月 20 日

多治見市議会議長 様

会派名 オールたじみ

20 番議員 氏 名 石 田 浩 司

質問題名	多治見市のDX化について
質問要旨	近年、自治体では急速にDX化が進められており、各サービスが提供されている。自治体のDX化は、行政サービスの効率化や市民の利便性向上だけでなく、地域の経済や持続可能な発展にも影響を与える可能性があります。それには適切な教育、適切なインフラ整備など、多くの側面を考慮する必要があります。多治見市におけるICT化や情報化の現状や将来について聞く。
質問項目①	スマホ決済の税の支払い状況はどのようになっているのか？また今後は？ ＊納付書への変更 ＊スマホ決済への手数料は
質問項目②	マイナンバーカードによる自宅、コンビニからの証明書発行について 予算と実施時期は？課題はあるのか？
質問項目③	保育園のICT化について 導入の検討は？導入する場合の内容と予算と実施時期は？
質問項目④	高齢者への対応 デジタルディバイド解消へ向けた取り組みは？
質問項目⑤	市としてのChatGPTの活用は 状況と課題は
質問項目⑥	DX化がもたらす将来の多治見市をどのようにとらえているのか？
質問の相手方	企画部長・総務部長・福祉部長・市民健康部長



議会だより掲載希望

1 2

登壇 No.

15 - /

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 5 年 11 月 20 日

多治見市議会議長 様

会派名 オールたじみ

5 番議員 黒川 昭治

質問題名	「進む人口減少と少子高齢化」の軽減対策について
質問要旨	子どもを産み、その後も住み続けたいまちを作る。 「子育て世代が選び住み続けたいまちづくり」のため、母子保健事業の充実、給食費無償化、保育料の無償化、医療費の無償化と、親の負担軽減の支援が施策として掲げられている。 前提として、子どもがのびのびと暮らせる環境づくりが大切。 また、「快適に暮らせるまちづくり」を、子ども目線で考える必要がある。
質問項目①	「公園整備・緑化推進」を行う場合、「誰もが楽しめる公園の整備」が必要と考えるが、どのような公園が必要と考えているのか？
質問項目②	それは、未来を担う子どもたちを主役としているか？
質問項目③	本市には、他市からも人が訪れるような魅力ある公園がない。そういった大型公園の構想はあるか？
質問項目④	屋内の遊戯施設は、児童館・児童センター・交流センターなどがあるが、現在の設備は子どもたちにとって充実していると考えているか？
質問項目⑤	未満児を含めた子どもたちや、保護者たちで賑わう屋内施設の構想はないか？
質問項目⑥	
質問の相手方	建設部長、福祉部長



掲載希望

1

2

登壇 No.

16 - 1

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 5 年 11 月 20 日

多治見市議会 議長 様

会派名 公明党

13 番議員 氏 名 寺島 芳枝

質問題名	重点支援地方交付金の効果的な活用で、物価高騰に苦しむ市民生活を守れ！
質問要旨	日本経済は、長く苦しいコロナ禍を乗り越え、本格的な経済再生に向けた歩みを始めようとしている。一方長期に及ぶ物価高騰は家計や事業活動に深刻な負担を与えており今こそ税収増などの成長の成果を適切に還元し国民生活を下支えするとともに、持続的な賃上げの取り組みを加速させ、経済の好循環を作り上げていくことが重要である。今般政府が決定した「デフレ脱却のための総合経済対策」には各地域の実情に合わせてきめ細かな支援策を進めることが出来る「重点支援地方交付金」の予算が追加された。交付金を効果的に活用し物価高騰から市民の生活を守る取り組みをスピード感をもって進めて頂きたい。
質問項目①	低所得世帯支援枠について。経済対策において、低所得支援枠に1世帯あたり7万円を追加することが盛り込まれた。これを踏まえ本市の年内の予算化のめどはどのようなか。
質問項目②	推奨事業メニューにおける生活者支援では、誰もが等しく必要なものを使う事の出来る、多治見市民限定商品券の発行を提案するがいかがか。
質問項目③	燃料高騰による事業者支援に公共交通的役割を担っている、介護タクシー業界や、地域限定よぶくるバス事業者などを対象にすべきと思うが如何か
質問項目④	
質問項目⑤	
質問の相手方	市長、企画部長



議会だより掲載希望

1

2

登壇 No. 16 - 2

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 5 年 11 月 20 日

多治見市議会議長 様

会派名 公明党

13 番議員 氏 名 寺島 芳枝

質問題名	住宅街の未市道認定道路について
質問要旨	多治見市内の住宅街地内において、市道認定がされていない生活道路がある。地域住民の市道認定がされていない不利益と将来への不安を払拭するため、確認し要望する。
質問項目①	市内住宅街における未市道認定箇所はどれくらいあるか。 （所有権が多治見市にあるものと個人のもの）
質問項目②	市道認定のされていない道路においてカーブミラーの新設、側溝の入れ替え、道路の陥没等の処置の可否はどのようなか。
質問項目③	市道認定に当たる条件はどのようなか
質問項目④	今後、市道認定がされていない一部の住宅地の市道認定を、どの様に進めていかれるか。
質問項目⑤	今後、市道認定に当たり、班、町内、自治会、区の手組みはどのようなか。
質問項目⑥	大津市等 HP で市道認定状況や路線名が確認できる「市道認定路線図」や市道認定条件などが確認できるが多治見市でも可能か
質問の相手方	建設部長